

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度12月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：薬務水道費 目：薬務費

事業名 薬局物価高騰対策交付金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 薬務水道課 薬事献血係 電話番号：058-272-1111(内3432)

E-mail：c11224@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 120,120 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	120,120	0	0	0	0	0	0	0	120,120
決定額	120,120	120,120	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

光熱費が高騰する中、収入の大半を調剤報酬(公定価格)により定められ、価格を調整できない薬局の負担軽減のため、光熱費高騰分にかかる経費を支援する。

(2) 事業内容

【交付額】104千円

【交付要件】

- ・保険薬局であること。
- ・交付申請日において、廃業していないこと。

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

薬局処遇改善等緊急支援事業費補助金

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
交付金	109,200	事業者に対する交付金
委託料	10,920	交付金の申請受付・審査事務に係る経費
合計	120,120	

決定額の考え方

財源については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当します。

4 参 考 事 項

(1) 国・他県の状況

複数の自治体で類似事業を実施

(2) 事業主体及びその妥当性

県内の医療体制の維持のために必要な支援のため、県負担は妥当

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業
☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

光熱費高騰の中においても県内の保険薬局が衛生的管理を確保しながら事業を継続することができること。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

緊急的に行う支援であり、指標設定等は困難。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 薬局光熱費高騰対策交付金[令和4年12月補正予算] 光熱費の高騰分に係る経費を支援（交付実績：403事業者963薬局）
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 薬局光熱費高騰対策交付金[令和5年5月補正予算] 光熱費の高騰分に係る経費を支援（交付実績：697事業者1,736薬局）
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	令和7年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない	
(評価) 3	物価が高騰する中、収入の大半を調剤報酬(公定価格)により定められ、 価格を調整できない薬局の負担を軽減することは、県内の医療体制の維持の ために必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3: 期待以上の成果あり 2: 期待どおりの成果あり 1: 期待どおりの成果が得られていない 0: ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	支援金の交付により、薬局の負担の軽減が図られている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている	
(評価) 2	薬局に対する交付金とともに、交付金の申請受付・審査事務を外部委託す ることにより、効率的に事業を実施している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのよ うに取り組むのか
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	